

事業所名

沖縄中部療育医療センター
放課後等デイサービスアラジン

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

19日

法人（事業所）理念		・私たちは、利用者およびその家族の意向を尊重して、多様な福祉・医療サービスが総合的に提供されるように創意工夫し、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、地域社会の中で健やかに育成されるよう支援する。 ・どんな難病、障がいがあっても利用者が生きて、生きることを保障する			
支援方針		・関係法令を遵守し、個別医支援計画に基づき多職種ワンチームで利用者一人一人を多職種ワンチームで利用者一人一人を大切にす			
営業時間		13時15分 ~	17時	0分まで	送迎実施の有無 あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> (地域の学校へ通っている児はお迎えのみあり)
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・呼吸・摂食、排泄など日々の健康管理に努め、子ども達が楽しく通えるように支援する。保護者・学校と情報共有を行い、体調管理に繋げる。 ・併設する医療機関との連携（緊急対応・リハビリ）			
	運動・感覚	玩具等の環境設定を行い、興味のあるものに自ら手を伸ばして取る・触る、外の活動では日光・風にあたり、ハーブ等色んな匂いで刺激をし好き・嫌いの児の表情を引き出す。触覚・嗅覚、視聴覚等の感覚入力を通して児の興味関心の幅を広げる。 座位や歩行等運動発達を促す支援を時の発達段階に合わせて取り組む。			
	認知・行動	ボディーイメージや外界の環境、物事の弁別能力を促進するプログラムを行う。様々な活動を通し適切な行動の習慣を図る。			
	言語コミュニケーション	児の実態に合わせて表情や身振り、産声言語、絵カード等でコミュニケーションを図り、言葉の理解やコミュニケーション手段の拡大を図る。			
	人間関係社会性	遊びや日々の活動を通して、大人や子ども同士のやりとりを形成し社会性を広げていく。			
家族支援		日々の困り感についてその都度職員が話を聞く体制をとる。 相談内容によっては適切な機関に繋げ、支援をとぎれないようにする。	移行支援		併用しているデイ、移行先等との情報共有、申し送りの場を設定する。
地域支援・地域連携		訪問看護、協力医との情報共有会議を行い、支援の連携を図る。	職員の質の向上		保育士研修を年間を通して設定。 外部講師を招いての勉強会開催。
主な行事等		季節の行事（ミニクリスマス会・ハロウィン等） 保護者交流会（クリスマスパーティー、お茶会）			